

今月の聖句

『聞くのに早く、話すのに遅く、
また怒るのに遅いようにしなさい。』

ヤコブの手紙 第1章19節

◎1月の予定

5日(金) 教務委員会
教職員協議会

9日(火) 3学期始業礼拝

10日(水) 給食開始

10日(水)・11日(木)
入学(小)・転入学願書受付(小・中)

11日(木) 校内研修会

15日(月)・17日(水) 体験学習②(中)

16日(火)・17日(水) 入学願書受付(中)

18日(木) 教務委員会

19日(金) 自宅学習日(小)

19日(金)・20日(土) 入学考査②(小)

24日(水)・26日(金)
転入体験学習③(小・中)

30日(火) 教職員協議会

31日(水) マラソン大会

◎2月の予定

1日(木) マラソン大会予備日

2日(金)・3日(土) 入学考査(中)



【クリスマス礼拝】

宇津山司祭の司式により、アドベントクランツに火が灯され、ハンドベル賛美も入り、全校で祈りを捧げました。



【子どもたちの祝会・クリスマス祝会】

小学校 聖劇『主の賜物』



中学校 オリジナル劇『ぼく達の物語』



☆あけましておめでとうございます

昨年は、本学園の働きのため様々なところでご支援ご協力をいただきありがとうございました。

昨年のクリスマス祝会では子どもたちは、一人ひとりと与えられた役割に取り組み、皆で一つの劇をつくり上げることができました。演じることが好きな子、楽器や歌の得意な子、道具をつくることに集中する子...さまざまな力をもつ子どもたちが、お互いに違いを認め合い、協力し合いながら準備してきたクリスマスでした。

神様からそれぞれに与えられた賜物をいかし、お捧げした一日となりました。

今年も、子どもたち一人ひとりが輝き、自分に自信を持つことができるように願って、関わっていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

☆マラソン大会 31日(水)

学校を出て、大磯運動公園で行われます。広々としたコースを子どもたちは一所懸命走ります。自分に打ち克つ力を養って、自己ベストの更新を目指してほしいです。

各学年で現地での試走をしていますので、詳細につきましては学級通信をご覧ください。防寒着やタオル等の用意を忘れずにして下さい。当日は、保護者の方々の大きな声援をお願いします。



明治一五〇年（平成三十年）

学園長 小川 正夫

皆様とご一緒に平和で穏やかな新年を迎えることができますことを感謝しております。

明けましておめでとうございます、今年も宜しくお願い申し上げます。

日本が近代国家として歩み始めた明治時代は、文明開化の時代ともよばれましたが、初めから数えて今年は一五〇年になります。

多くの文化人、著名な方々が大磯に住まいを設けておられました。初代内閣総理大臣、伊藤博文をはじめとして八人の首相、そして政財界の実力者も多く、なぞらえて伊藤山脈とよばれたこともありました。四十五代首相の旧吉田茂邸も元通りに新しく再建され、多くの人達が訪れており、大磯の町全体を庭園文化観光の町として国の支援を得て整備発進するプロジェクトが始まろうとしております。

大磯町の中崎久雄町長も、新しい町造り、総合発展計画に情熱的に取り組まれ、明日の輝かしい大磯の未来を描いておられます。私達の聖ステパノ学園はその大磯の町の海沿いのおよそ中央、JR大磯駅前の高台に位置しており、学園講堂「海の見えるホール」や「澤田美喜記念館」は大磯地域のマグネットポイントになっております。

一五〇年を記念する良い機会です。かつて、大磯に居を構えていた歴代八人の首相の似顔絵を参考までに紹介します。

この似顔絵は、中郡大磯町東小磯にお住いの絵師、河口邦山（かわぐちくにさん）さんがお描きになったもので特別に御許可を得て掲載させていただいております。

私達の学校の創立者澤田美喜先生も大磯名誉町民として名を連ねていますので、似顔絵を掲載させて頂きました。



8代・17代
大隈重信



3代・9代
山縣有朋



初代・5代・7代・10代
伊藤博文



19代
原 敬



18代
寺内正毅



12代・14代
西園寺公望



澤田 美喜
（1901～1980）



45代・48代・49代・50代
51代 吉田 茂



24代
加藤高明



新体育館・新職員室

私達の聖ステパノ学園も、皆様のご支援を戴く中、子ども達の安全第一の環境整備を願ひ、創立五十周年を機に「海の見えるホール」「中学校森の中の教室」「小学校校舎」が新しく建て替えられ、いま、老朽化した最も古い建物、体育館及び職員室の建て替えにかかっています。子ども達が最も楽しみにしている体育館は津波などの自然災害、緊急時などに町の人達の避難場所としても提供します。

急傾斜の法面の真下にある老朽化した職員室も、近年の異常気象から安全を確保するために移動、建て替えを行い、教職員の働きに少しでも良い環境に整備したいと計画しています。

職員室移動の跡地には、小さなガーデンを造成し低学年の児童の遊び場にします。子ども達の未来への成長を支えるために、皆様の温かいご支援を戴くことができますよう、心よりお願い申し上げます。

「今年の聖劇は、人形劇をします。」

小学校聖劇は、この言葉で始まりました。きつと、「僕はヘロデをやりたい。」「私はマリヤを演じてみたい。」と心に秘めていた子どもたちがいたことでしょう。それがすべて人形に奪われてしまうのです。赤田は何を言っているのだと、不穏な空気に包まれました。イエス様の御降誕の様子を伝え、お祝いするのが聖劇ですが、前途多難な滑り出しになりました。

今回の聖劇でやりたかったことは、

- ① 人形劇にする。
- ② できるだけ聖書に忠実に行う。
- ③ マリアの賛歌を歌う。
- ④ 登場人物にヘロデを出さない。

以上の四ポイントでした。

一番苦労したのは人形作りでした。休日、飯田橋にある『パペットハウス』や山下町の『横浜人形の家』に行きました。様々な人形に触れ、観察し、作り方を考えました。胴体の構造はすぐに決まったのですが、どうしても頭ができませんでした。新聞紙を丸めて靴下を被せて…と簡単に考えていましたが、上手く頭の形になりません。煮詰まっていると、

「とにかく試作品を作りましょう。」
と、一人の先生と一緒に悩んでくれました。

舞台映えを考えると、顔は大きい方が良いでしょう。新聞紙で大きな球を作りました。肌にはハリを持たせるに、伸縮する布『スミースニット』を探し出し、湘南地域の手芸屋さん巡りの末、必要な長さを確保して解決しました。

「目元を風紐で縛るといいよ。」

という他の先生のアドバイスで、顔に表情が生まれました。

試作品が出来上がると問題が発生しました。児童が操るのに、人形が重すぎたのです。彼らが持てるように軽量化しなければなりません。この壁はある先生の、
「プラスチックのボウルとザルを合わせると球になりますよ。」

一言で道が開けました。さらに、子どもたちが置くこともできるように、支え棒もつけることにしました。

腕も動かそうと考えました。水泳で使う円柱型のプルブイのように軽い素材を探しに、百円ショップへ行きました。あてもなく歩いていると、スポーツチャンバラの剣が目に見え込んできました。芯があるので、そのままでは使えませんが、キュッと芯を取ってしまえば、くねくねと曲がる腕の出来上がりです。そのままでは細すぎるので、梱包用のプチプチを巻いて質感を持たせました。芯の部分は手の先に取りつけ、動かすための棒になりました。柄の部分は、一・二年生が作る羊の足にもなりました。こう

して、スポーツチャンバラは残すところなく、劇の材料に使われました。

このように、多くの課題をクリアして出来上がった人形は、子どもたちが遊んでくれるようになり、ほっと胸をなでおろしました。

次に、舞台を最小限にしたいと提案すると、「図書室の椅子に黒い布を被せれば、足元を隠し、かつ舞台が引き締まるよ。」
「プロジェクターを使って背景を写してみるのはどうでしょう。」

と、たくさんの案を先生方が出してくれました。子どもたちにも手伝ってもらい、ステンドグラス風、切り絵、影絵的な背景が出来上がりました。

衣装の先生方は、人形と声優の衣装に共通部分を作って、場面をより分かりやすくしてくれました。

劇は独りでは作れません。私は我が儘ばかりを言いますが、その我が儘を実現してくださるステパノの先生方、無茶な注文でも、やり遂げてくれるステパノっ子たちに助けられて完成しました。たくさんの協力で、今年も良い作品が出来上りました。一緒に作ってくれた皆様に感謝です。ありがとうございます。



「彼ら達の物語」

教諭 西海 多恵子

クリスマス祝会で隔年発表している、中学校のオリジナル劇。今年度の題名は早くから心の中で温めていました。「ぼく達の物語」。五十人の中学生が、自分たちの等身大の姿を生き生きと表現する発表をして欲しいと思ったのです。

九月十五日、劇の準備スタートの総合の時間に私が話したのは、主に二つのことです。キャスト(役者)だけが中心ではなく、照明・音響・舞台・道具・衣装など、スタッフも同じく重要な役割を担う、誰一人もかけては成り立たない、みんなで劇を創り上げようということ。もう一つ、聖劇(イエスキリストの降誕劇)ではない今回のオリジナル劇には、神さまもイエスキリストも出てこないけれど、神さまの名の下で学んでいる聖ステパノ学園中学校のあなたたちの姿を、来てくださった方たちに見て喜んで頂きたいのだ、という気持ちです。

その日のうちに、自分が希望する分担(スタッフかキャスト)を書いてもらいました。できるだけ希望は活かしたいけれど、バランス上必ずしもその通りにはできないところもある、という私の言葉に皆、ウンウンとうなずいてくれます。劇のイメージを自由に書く欄には、「平和を取り戻していくストーリー」「笑いと感動」「戦闘シーン」

「自分らしい役」「黒い衣装を着たい」「煙を出したい」「お客さんが笑うような劇」などなど、生徒たちの言葉が並びます。

みんなの希望やアイディアをもとに、脚本の第一稿ができました。海の見えるホルのステージに丸くなって座り、全員で輪読をします。みんなで読み終えて、「こんな感じでどうでしょう?」と恐る恐る聞いてみると、「うん、いい。」「面白そう。」「など、おおむねOKが得られて、ほっと一安心。そこでいよいよ、自分が何をやりたいのか、役者だったらこの役、スタッフならこの仕事、と希望を書いてもらって、決定稿の準備です。

今回は、「夢」をテーマにしたい、ということは決めていたので、全員に「自分の夢」を書いてもらいました。約二十分、生徒たちは熱心にシャーペンを走らせました。ひとり二人、想いをうまく書き表せない人もいましたが、ほとんどの生徒が自分の夢を、素直に熱心に書き綴ってくれました。それを読むと、ステパノの生徒はやはりすごい、素晴らしい、と私は感激して、劇の構想もどんどん膨らみます。

自分の希望と違う分担をお願いしたい生徒には、決定稿を渡す前に、個々に相談します。「できれば、照明をやってほしいんだけど。」「このセリフはあなたの夢をもとに書いた。やってくれる?」など、休み時間に声をかけると、ほとんどの生徒が了

解してくれます。どうしても自分には合わない気がするという人には、新しい役を作りました。また、受験を控えた三年生には、覚えなければならぬセリフの量も相談。そうするうちに、物語は私の内から彼らの中にその住まいを移して、いよいよ練習が始まるころには、「彼ら達の物語」になっていました。

本格的な練習は一週間。中身の濃い七日間でした。戦闘シーンのアイディアをたった一晩で練り上げてきた三年生(セリフと図解入り)。休み時間、伴奏者と一緒に自主的に練習する歌声が毎日響きます。放課後には、暗くなる中寒い戸外で、黙々と背景作りをする美術スタッフ。それぞれが、自分の役割をしつかりと担い、工夫をして積極的に取り組んでいる姿は、近年でも一番だったのではないかと思います。

素晴らしい衣装の数々を、生徒を主導して用意してくれたのは、家庭科の先生です。睡眠時間を削り、ご家族の協力も仰いでバックアップしてくれました。無理な私の注文を実現すべく工夫を重ねてくれたスタッフ担当の先生方、心から感謝です。

それぞれがその個性を存分に発揮しつつ、協力して一つの劇を創り、見てくださった方々に喜んで頂きました。「本当に楽しかった。みんな、ありがとう。」「最後の私の挨拶に、「どういたしまして。」「との返事。一同大いに笑って、祝会が終わりました。

緊張感をもって

非常勤講師 能條 貴大

先月、二日間に渡ってクリスマス祝会が行われ、ステパノ生たちが、様々な工夫のこなされた劇を披露しました。小学生は大きな人形に音楽隊の加わった新しい試みの聖劇で、可愛い雰囲気がとても印象的でした。

中学生は「夢」をテーマにしたオリジナル劇で、メッセージ性の強いストーリーと生徒達の熱のこもった演技で、とても華やかで迫力のある舞台になりました。

今回の劇を見ていて感心したことは、役者や演奏者、それらを支える照明係や音響係、衣装や大道具 etc... 全て児童生徒がそれぞれの役割を担って、的確に動いていたことでした。

数少ない本番のために長い時間を掛けて準備をする大変さ、難しさを乗り越えたからこそ今回の素晴らしい舞台が誕生したのだなと感じました。一本の劇を先生方、児童生徒で力を合わせて作り上げる達成感はステパノ学園ならではの思いです。

十二月、ステパノ学園での祝会の少し前に、あるお仕事の見学をさせて貰う機会がありました。そのお仕事も、ある一つを完

成させるために沢山の人が関わるものでした。出演する人々や、それらを支えるメイクや照明、大道具やカメラなど、それぞれが自分の役割を果たすために一生懸命に働いていました。

皆、それぞれの分野を専門に勉強してきたエキスパート達で、協力し合い、意見を交わしながら仕事に取り組んでいました。

リハーサルから本番まで丸一日、少しも気を抜く暇もなく仕事に当たっている様子に圧倒されてしまい、こちらにまで緊張感が伝わって来ます。

休憩時間に出演者やスタッフの方々と話していた時に、「あの緊張感の中で仕事をするのはとても大変なことではないか？」と問いかけてみると、「緊張感があるからこそ本気で仕事に取り組めるし、責任感が生まれて良いものが作れるんだよ」との答えが返ってきました。浮ついた気持ちでは、つまらない小さなミスも増えるし、周りにもそれが伝染していくので、厳しい態度で仕事に臨むそうです。この話を聞いた時に、大勢で一つのものに取り組むことの大変さ、ひとり一人の責任の重さについて、改めて考えさせられました。

日々の生活や仕事など色々なことに慣れ、てくるとつい緊張感を失ってしまいますし、モチベーションの低下にもつながります。

『初心忘れるべからず』といったことわざがありますが、これは「物事になれると、つい慢心してしまうので、最初の謙虚で新鮮な気持ちを忘れるな」といった意味を持っていると思います。このことわざは室町時代に活躍した世阿弥が、能楽を学ぶときの心構えとして言った言葉だそうです。初心の真面目さ、真剣さを長く保ち続けることはとても大変なことですが、物事に真剣に取り組むためにはとても大切な心構えだと思います。

ステパノ学園の子ども達は学校行事を通して責任の重さや仕事の大変さ、また達成した時の喜びを学ぶ事ができます。毎日のように新しいものに触れあうことができ、忙しくも充実した日々を過ごすことができます。そういった経験は、学校を卒業したあとも財産として残り、大きな武器になると思います。

日々のあらゆることから色々なものを吸収できるよう、私自身も緊張感をもって生活していきたいと思っております。



「小学校」クリスマス祝会の聖劇は、人形劇による「主の賜物」でした。

小一 I・N

クリスマスしゅくかいで、中学校のげきでたかうところがかつこよかったです。ぼくもあなりたいです。ゆめの女王とゆめのま王がたたかっていました。すごかったです。

小二 H・U

今日、クリスマスしゅく会をやりました。もう一ど中学校のげきを見たかったです。でも、まち時間の間は、ジャンケンや、いつせーのや、マッチボウができて良かったです。さて、まち時間もおわり、こんどはぼくたちの出ばんです。「この歌がおわったら、ぼくたちの出ばんだよ。」と言われた歌がおわり、ぼくたちの出ばんの歌、「きよしこの夜」です。ぶたいに出て、おかあさんにしや真をとられました。きんちょうです。でも、一週間れんしゅうしたせいか、出せたと思います。すごく楽しくできました。メリークリスマス！

小三 H・R

今日、学校でクリスマス祝会がありました。さいしょドキドキしましたが、ガブリエルにいのちをふきこむことができました。ガブリエルにまだ心はあるのでしょうか？

小三 K・R

今日は、いよいよ楽しみにしていたクリスマス祝会がありました。まず、人形つかいの服にきがえて、中学校のげきが終わるのを待ちました。中学校が終わると、いよいよ出番がきました。げきが終わると、小学校と中学校で、三十七番を歌いました。クリスマス祝会を無事に終えることができました。来年もがんばります。

小五 O・K

今日は、子どもたちの祝会がありました。楽しかったです。中学生の劇は、「ぼく達の物語」でした。最初から最後まで、中学生の劇が見られてすごく良かったです。夢を語るスピーチコンテストの司会のI・R君がすごく演技がうまかったです。A・S君の演技とかセリフがすごくおもしろかったです。中学生の劇の歌は「よろこびの歌」でした。小学生の聖劇は、人形劇でした。僕は、人形つかいの役でした。楽しかったです。自分なりに成果が出せました。最後に聖歌三十七番を歌ってお祈りして終わりました。楽しかったです。

小六 O・R

今日は、子どもたちの祝会がありました。司会をやっていたので、朝来て練習しました。礼拝後、プログラム一番は、ハンドベルの演奏でした。むかえようクリスマスで

やったのと同じでした。二番目は、中学校の劇でした。テーマは、「夢」でとてもおもしろかったです。一人で見たので、さびしかったです。小学校の劇も、いつものようにがんばりました。明日は、もつといい司会をしたいです。

小六 N・K

今日は、クリスマス祝会で、昨日とちがって外からも人が来るので緊張しました。衣装に着がえて、すぐ練習をして、最後にクワイヤーの人たちと合わせました。今日は、劇の前に練習をしたので、昨日に比べて、だいぶ良くなりました。二日間が終わってとても安心しました。

STEPHEN'S NEWS

表彰

速解力検定 認定証書5級

小3 T・R

大磯町リサイクルセンター ごみコンテナ

イラスト 優秀賞

小4 K・F

小6 I・K



「中学校」

中学生は創作劇「ぼく達の物語」を発表しました。今年も照明・音響・舞台・道具・衣装・化粧・役者とそれぞれが自分の希望する役割で活動しました。

中一 S・N

今日は、祝会でした。今年は初めてソロで歌うのですごく緊張しました。大きな舞台で歌うのが初めてだったので、うれしかったです。最初の歌を歌った後からずっと緊張がほぐれなくて、でも、一番最後の歌を歌い終わった後、お客さんの方を見たら泣いてくれる人がいっぱいいて、先生が「会場の人が感動するような演技をしよう」って言うてたから、それができてよかったし、なぜだか分からないけど、自分も涙がでました。今日すごく緊張したけど、わたしにとって、とても役に立つと思います。これから大きな舞台で歌ったりする時に自信がもてます。今回劇をやって、いろんな人がほめてくださって、とてもうれしかったです。前までは、はずかしいとか思ってたけど、今回やって、もっと前にでたかなと思います。

中二 A・R

今日は劇がありました。僕は大道具で照明が消えたら暗闇の中を動いて、道具を持って行ったり戻したりする役でした。大変

でした。でも、どの役も大変なので全力で仕事しました。

中二 O・H

今日、クリスマス祝会がありました。ぼくは、ハンドベルもやりました。劇では、自分の役のところを上手にできました。今日の劇は全体的に今までで一番上手にできたと思うので、よかったです。

中三 I・R

朝からドキドキで、ずっーと緊張してしまいました。西海先生がお茶をいれてくれて少し落ち着いたらときに本番が来たので冷静に演技ができました。大半の人が「ノーマス」と言っていて、僕もその中の一人でした。

いろんな人から「良い演技だったよ」と言ってもらえて勇気がでたし、やってよかったと心から思いました。

中三 S・Y

今日は、クリスマス祝会でした。はじめのハンドベルは、一生懸命にやりました。うまくいったのでよかったと思います。

次は中学校の劇です。劇の題名は「ぼく達の物語」。僕のキャストは「夢の狩人2」。台詞は、うまくできました。劇の最後の歌は、みんなうまくできていました。

とても楽しかったです。

中三 N・Y

昨日はクリスマス祝会がありました。ハンドベルは、一か所音が抜けてしまった部分がありました。あとは大丈夫でした。私たちの劇では、A君と私のセリフの間で、間があいてしまいました。ソロはなんとか成功しました。小学校の聖劇は、歌詞を少し忘れてしまった所がありました。最後の祝会は、今までで最も良かったなあと思いました。

ぼく達の「夢」(祝会プログラムから)

☆ぼくの夢は、デンマークに行って、レゴのデザイナーになることです。☆私の夢はマンガ家になることです。☆夢はドッグトレーナーです。☆僕の夢は、アーチェリー選手になることです。☆ぼくの夢は大工になることです。☆私の夢は、老後を標高が高く夏も涼しく暮らせるような場所です。☆自分の将来の夢はサッカー選手になることです。☆私の夢は、天文学者です。☆ぼくの夢は、JR会社の電車の運転手です。☆僕は正直、まだ具体的な夢はありません。でも将来は自分の才能を活かせるような職業に就きたいと思っています。☆UFO株式会社を作り、社長になって、宇宙人と仲良くなる。そして宇宙戦争のない天才的な世界にする。☆魔術師。



今月号は、入学一年目の保護者が二人で活動してくださっています「リサイクル委員会」の活動のレポートです。

「ベルマーク活動」 (小6)

本校のベルマーク活動はリサイクル委員が回収から集計、発送までをしています。小学校の昇降口と中学校の職員室入口に回収箱を設置し、ベルマークを回収しています。今年度のリサイクル委員は二人だけです。今年度の制服販売会が近づいてくると、そちらの準備の合間にベルマークの回収と集計作業をしていますので、少しばかり忙しくなる時もあります。特に仕分け、集計作業は小さい物や薄いビニール等は数えにくく、点数も見えにくいので大変な時もあります。両面テープを使って台紙に貼り付けて、数えやすくして集計をしています。とは言っても楽しく作業をしていると思っています。たった、二人での作業ですので「出来るだけ早く、正確に、数をこなす！」をモットーにしているつもりです。今後、作業に関しては自分達が気づいたことを改善してリニューアルをしていけたらと考えています。

年間を通して、コツコツと収集できるベルマークは、まさに「継続は力なり」だと思います。そして、また意欲の継続にも繋がっていると思います。

「制服リサイクル会」 (小6)

2015年度より始まった活動です。保護者の皆様からお預かりした制服、体操服、生活着などの学園指定の物品は、まず学園及びホームからご要望があるものは寄付させていただきます。その後、授業参観、保護者会後に「制服リサイクル会」を開催しております。

今年度のリサイクル委員は、聖ステパノ学園に転入したばかりの二人での活動となりました。「制服リサイクル会」を一度も経験したことがなく、手探りで開催となりました。物品全てにサイズを表記し、サイズ別に並べてみたところご好評を頂き、たくさんの方の保護者の皆様にお買い上げいただきました。

普段お会いする機会の少ない他学年の保護者の皆様とお話しできる良い機会となりました。また、学園事務室の先生方にご協力いただくことが多々あり、学園の雰囲気になれることができました。

リサイクル委員は保護者の皆様、先生方のご協力なしには成り立たない活動です。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

STEPHEN'S NEWS

表彰

【第56回大磯町民ロードレース大会】

中学生女子1年の部 1位 N・Y

2位 S・A 3位 I・N

中学生女子3年の部 1位 S・Y

中学校男子1年の部 2位 I・M

【第85回全国書画展覧会】

〈小学校〉銅賞 小3 K・R H・R

小4 S・A 小5 N・H

銀賞 小3 K・K 小5 A・T

T・M F・Y 小6 K・S

〈中学校〉銀賞 中1 S・A S・N

S・A N・S 中2 U・S S・S

中3 I・R O・R H・R F・H

M・K

金賞 中1 I・N F・J M・A

中3 I・M

代表者 学園長 小川 正夫
発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校
ステパノだより編集委員会

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯八六八

TEL 0463-611298

FAX 0463-611973

http://www.stephen-oiso.ed.jp

二〇一八年一月十七日(水) 発行 第217号